



『オ・シャンゼリゼ』

作詞作曲：M.Wilshaw
M.A.Deighan

街を歩く 心軽く
誰かに会える この道で
可愛い君に声をかけて
こんにちは 僕と行きましょう
オ・シャンゼリゼ
オ・シャンゼリゼ
いつも何か すてきなことが
あなたを待つよ シャンゼリゼ

君を連れて 遊びに行こう
皆が集まる あのクラブ
ギターをひいて 朝まで歌う
楽しくさわいで恋をする
オ・シャンゼリゼ
オ・シャンゼリゼ
いつも何か すてきなことが
あなたを待つよ シャンゼリゼ



「当たり前」って？

校長 蒲谷 猛

パリ市内でレンタカーを借り、高速道路をとばすこと4時間とちよつと。東名高速で比定すれば、横浜町田ICから豊田ICまでの移動と考えると、ほぼ同じ距離。夕日に照らされるモン・サン・ミシェル、夜に光を放つモン・サン・ミシェルを見たいと、日の入りは21時過ぎという情報を手がかりにしながら、異国での大移動に挑んで、何とか日没前にたどり着きました。

到着したのはほぼ20時でしたが、日本で言うと、まだ17時前後の感じ。やや日差しが傾いてきましたが、まだまだ明るい日差しは強くじりじりと暑い状況でした。駐車場から歩くと30分強かかるので、はやる気持ちを抑えながら電動バスに乗車。全貌がほどよく視界に入る絶妙な地点でバスは終点となりました。

今の時期は、海側が夕日に照らされているので、赤く染まっているのの一部でしたが、夕日とともに見える絶景を目に焼き付けながら、日没前に歩くため島内、堂内に足をすすめました。見学の最終地点、展望テラスから赤く染まる海に、日が沈んでいくのを見ました。やっと思つた、時刻はと思つて、携帯で確認すると、22時を少しまわったところ。目の前の日没の体感と、時間の感覚とが何とも合わないのです。

今回の旅行では、出会ったさまざまな様子から、「日常の『当たり前』って当たり前じゃない」ということを改めて考えさせられることが度々ありました。今お話しした、日没の時刻とか日の出ている時間の長さとかについても、日本の「当たり前」では全く合いませんし、パリ市内のそこそこにあるオープンカフェで、シャンパンやワインのグラスをこぞって傾ける光景も、日本の日常には置き換えることができません。「ふつう」とか「当たり前」って、もともと好きではない私ですけれど、自分の感性を固定化させたくないという一層思わせられました。

夏休みが終わり、子どもたちが学校に帰ってきます。「グローバル」とか「ダイバーシティ」とかが求められる社会で活躍するであろう子どもたちと向き合うには、固定観念にとらわれない柔軟な発想を、大人の「ふつう」とか「当たり前」とかでつぶすことは絶対に避けないといけないですね。「どうしたいの」「どう思うの」「なるほどね」を大切にしながら、一年で一番長い12月までの課業期間の充実を目指していきます。感染状況による影響は未知ですが、できることに前向きに取り組みます。変わらぬご理解・ご協力を、改めてお願いいたします。

【9月のカウンセリング】

9月のSC来校日は1日(木)〔全日〕、5日(月)〔全日〕、8日(木)〔全日〕、15日(木)〔全日〕、22日(木)〔全日〕、29日(木)〔午前〕です。

お子さんの成長や学校生活についての悩みや疑問がありましたら、気軽にご相談ください。学校(045-362-2020)の副校長又は児童支援専任(坂本)までご連絡ください。

【夏季休業中に研修を行いました】

○重点研究研修 算数・音楽・学級づくり

三日間に分けて重点研究テーマ「自らの問いを意欲的に追究する子を目指して」に迫るための研修を行いました。初日は、初任者研修指導教員の菊地信明先生を講師として、算数を通して学習意欲を高める授業づくりを学びました。算数が面白いと思うのは、素早く答えが出せたときではなく、答えや面白い性質を導くプロセスをよく理解できたときであるということをお話ししました。二日目は蒲谷校長を講師に、音楽科の授業づくりと評価について学びました。リコーダー・鍵盤ハーモニカを演奏したり、体を使った曲想の表し方を学んだりして充実した研修となりました。三日目は、教育委員会教職員育成課の嶋田克彦先生を講師に、教員としての資質と学級づくりについてお話をいただきました。子どもへの声の掛け方や教員としての姿の大切さを学びました。

今年度の重点研究テーマに迫るために、これからも研究・研修を重ねていきます。

○人権教育

健康教育学者の近藤卓先生をお迎えして、原中・三ツ境小と共に「自尊感情をどう理解し育むか」について学びました。教員という立場で子どもたちに何ができるのかを考える機会になりました。

【児童支援専任コーナー】

○「横浜子ども会議 2022」(原中学校ブロック)開催

7月21日(木)に、原中学校で「横浜子ども会議 2022」(原中学校ブロック)を開催しました。各校の代表児童生徒が参加し、横浜子ども会議のテーマ「だれにとっても居心地のよい学校づくり」について各校の取組を紹介しました。原小学校からは、原の子委員会の代表児童2名が参加しました。原小学校でのあいさつ運動やペア学年活動の取組などを紹介しました。

○登下校中のいたづらについて

地域の方からインターホンやポストへのいたづらや、防犯ブザーを不必要に鳴らすことについて相談を受けることがあります。朝会や学級で話をすると共に、地域に愛される原の子を目指して指導を続けています。地域の方も大変お困りですので、ご家庭でも話題にあげ、子どもたちと確認していただきますようお願いいたします。

○「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の

実現を目指して

近年、児童生徒等の自殺者数が大きく増加しています。また、長期休業明けに児童生徒等の自殺者数が増加する傾向にあり、不安や悩みを抱える子どもたちが増えることが考えられます。ご家庭でも、子どもたちと向き合う時間をより積極的にとるようお願いいたします。

【児童生徒の主な相談窓口】

- 24時間子どもSOSダイヤル(文部科学省)
0120-0-78310 (なやみいおう)
- こころの健康相談統一ダイヤル(厚生労働省)
0570-064-556
- 24時間よりそいホットライン(厚生労働省)
0120-279-338
(つなぐ ささえる)

【各教材業者に直接振込をしていただく教材の購入について】

各教材業者への振込期日を7月20日としておりましたが、現時点でまだ未納の方が多くいる旨、教材業者から学校に連絡が入りました。

すでに教材(ワーク、ドリル、テストなど)は使用しているため、このまま払込みが完了しませんと、今後の学習に支障が生じてきます。大至急お振込みくださいますようお願いいたします。

また、20年度、21年度分の教材費も未払いのご家庭があると聞き、非常に困惑しております。そのご家庭には直接ご連絡をさせていただくとともに、業者からの請求書をお渡します。必ずお支払いをお願いします。お支払いいただけない場合は、法的な措置も含め業者と検討してまいりますので、よろしく申し上げます。

令和4年度下校時刻予定表(9月)

9月		学校行事
日	曜	
1	木	朝読書
2	金	スキルタイム 総合防災訓練
3	土	
4	日	
5	月	朝会 (会議日)
6	火	スキルタイム 委員会活動
7	水	
8	木	朝読書 2年遠足
9	金	スキルタイム
10	土	
11	日	
12	月	朝会 代表委員会
13	火	スキルタイム クラブ活動
14	水	集会
15	木	朝読書
16	金	スキルタイム 重点研授業研
17	土	
18	日	
19	月	敬老の日
20	火	スキルタイム
21	水	
22	木	朝読書
23	金	秋分の日
24	土	
25	日	
26	月	朝会
27	火	スキルタイム 委員会活動
28	水	2年食育キャラバン
29	木	朝読書 2年食育キャラバン 授業参観・懇談会(1・3・5年)
30	金	スキルタイム 授業参観・懇談会(2・4・6年)

成績処理期間